

様式 2

令和5年度 墨田区立竪川中学校 経営計画書

校長名 織部 明広

学校目標	徳育・知（智）育・体育の調和のとれた、人格形成を目指す
目指す学校像	授業が充実し、生徒と生徒、生徒と教職員の間に信頼関係のある学校
目指す子供像	① 心豊かな、美しい感性をもった生徒 ② 意欲的に学習する生徒 ③ たくましく、何事もやりぬく生徒
目指す教師像	人権意識を高め、生徒や保護者に寄り添い、現実を直視し情熱をもって職務遂行する教師

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施（国、社、数、理、英）	①授業時数、授業時間を確保 ②漢検・英検・数検の受験の奨励 ③全国・区学力向上の取組 ④補習教室の充実	①前後期の2回の生徒授業アンケートでの「授業内容に満足しているか？」の質問の肯定的な回答 4 90%～100% 3 80%以上 2 60%以上 1 60%未満 ②3つの検定3級以上の受験者率 4 20%以上 3 15%以上 2 10%以上 1 5%未満 ③過去問題、問題データベースの活用実施率 4 4回以上 3 3回以上 2 2回以上 1 2回未満 ④すみだ塾の参加者を毎回60%以上 4 80%以上 3 60%以上 2 40%以上 1 40%未満	①④学校関係者評価（保護者・地域）設問：基礎学力の定着（授業時間確保や補習学習）についての肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満 ②トリプル3合格率 4 35%以上 3 30%以上 2 20%以上 1 20%未満 ③全国平均正答率 4 +5%以上 3 全国 平均値 2 全国平均－ 5P 以内 1 -5P 以下
	特別な支援を必要とする生徒に対しての、組織的な支援等を行う。	①校内委員会による個別指導計画を対象とする生徒全員分作成し、実施、評価、改善を図る会議を10回設ける。 ②全教職員がICT回覧板を活用する。また、タブレット端末を活用しロイロノート等のアプリで学習支援実施する。	①校内委員会の実施状況 4 100%、取り決めた。 3 80%以上、取り決めた 2 60%以上、取り決めた 1 60%未満取り決めた。 ②全教員によるタブレット端末を活用しロイロノート等活用状況 4 100%以上活用した。 3 80%以上活用 〃 2 60%以上活用 〃 1 60%未満活用 〃	①学校関係者評価（保護者・地域）設問：生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。についての肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	① 職業体験については、竪中ハローワークを活用して、求人票や履歴書の作成など、実際の就職活動に準じた指導を行う。 ②社会人講師の講話を各学年3回以上。	①職場体験後の生徒アンケートによる満足度 4 90%以上満足 3 80%以上〃 2 60%以上〃 1 40%以上〃 ②社会人講師の講話の活用状況 4 3回以上活用 3 2回 〃 2 1回 〃 1 1回未満	①学校関係者評価（保護者・地域）設問：我が子と、将来の生き方や進路について話しをしている。での肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満

様式 2

生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組を行う。	①いじめアンケートを年5回実施し、生徒の意識を高めるとともに、保護者アンケートも年2回実施し早期解決に努める。 ②不登校生徒へのタブレット端末を活用した学習支援及び要望に応じて授業動画配信を行う。	①『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況 4 100%以上取り組んだ 3 90%以上 〃 2 80%以上 〃 1 80%未満 〃 ②5教科を中心に生徒・保護者の要望に答える。 4 4教科実施 3 3教科実施 2 2教科実施 1 2教科未満	①学校関係者評価（保護者・地域）設問：いじめや暴力（暴力的言動のない）学校づくりにとりくんでいる。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満 ②学校関係者評価（保護者・地域）設問：時代や社会の要請（タブレット等のICT機器、個人情報）を積極的に取り入れている。 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	基本的な生活・社会規範、人間関係づくりのための心の教育に取り組む。（いじめ・不登校、校則違反、偏食ゼロ）	①校長講話を通して、生徒の活動を褒め、意欲を引き出していく。さらに、思いやりの心を育てていく。②生活アンケートを生徒が実施・集計・分析し、全校に働きかける。③給食の残菜を2%以下にする。④ICT回覧板を活用し、問題行動の周知徹底を図り、それぞれの役割が果たせるようにする。	①②『生活意識調査』年5のアンケート生徒・保護者より早期発見の取組実施状況 4 100%以上取り組んだ 3 90%以上 〃 2 80%以上 〃 1 80%未満 ③前期・後期の残菜率 4 1%未満 3 2%以上 2 3%以上 1 4%以上	①②学校関係者評価（保護者・地域）設問：「心を育てる教育」（道徳教育など）に積極的に取り組んでいる。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	危機回避能力の育成や生徒の安全を確保するための取組等を行う。	①避難方法の確認だけでなく、毎回違う場面、時間帯を想定した訓練を行う。 ②各教科の年間指導計画において、特別な教科「道徳」の関連項目の組み込み、別業作成、活用、実践の継続をする。③SNSによるトラブルの根絶に向け、生徒会を中心に生徒が自らルールを決め活用している。	①毎月の避難訓練で災害内容場面、時間帯を違い訓練を実施する。避難時間 4 3分以内に避難完了 3 4分以内 〃 2 4分30秒以内 〃 1 5分以内 〃 ②特別な教科「道徳」の別業作成し関連教科との連携をはかる。	③学校関係者（保護者・地域）設問：我が子は、毎日、充実した学校生活を送っている。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営を行う。	①全員の教師が全校生徒の名前と顔が一致する。個別指導の充実を図る。②副主任による主任補佐の役割を通して、分掌・学年を組織的な運営にしている。	①毎日の家庭学習帳の点検活動を通じて、生徒理解を深める。 ②自己申告による人事考課制度における年3回の面談時に確認する。	①②学校関係者（保護者・地域）設問：教育方針や教育活動を分かりやすく伝えているか。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	①家庭学習帳を全校で毎日提出させる。 ②年3回の学校運営連絡協議会を実施し、学校教育方針を説明し、学校における教育活動の進捗状況を説明する。③学校評価アンケートによる改善を図り、生徒の実態に対応する。	①家庭学習帳の前・後期提出率パーフェクト賞者数状況 4 3割以上 3 2割5分以上 2 2割以上 1 2割未満	③学校関係者（保護者・地域）設問：生徒の個性を理解し、一人一人の学力を伸ばそうとしている。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	①毎日の校舎点検、毎月の施設点検。②日々の清掃活動	①日直日誌、警備日誌での確認②清掃分担	①早期発見、早期修繕による現状復帰

様式 2

家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	①毎月の学校便り・毎週の学年便りの発行、デジタルデータで配信する。HP の更新を随時行う。本校の教育活動に向けた広報活動の充実を図る。②生徒一人一台のタブレット端末の活用による授業、(キュビナ、ミライシード等)の学習ソフトを活用し、家庭学習での積極的活用を通して、学力向上を図る。	① 学校配信システムコク一の全保護者への登録の取組 ② G I G A スクール推進委員が中心となり学習アプリの活用を推進していく。	① 学校関係者評価 (保護者・地域) 設問: 教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60% ② 学校関係者評価 (保護者・地域) 設問: 時代や社会の要請 (タブレット等の ICT 機器、個人情報) を積極的に取り入れている。 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。	3 年生対象に、学校支援地域協力会及び町会長等の外部人材による面接指導を実施。面接力の向上を図る。	学校支援地域協力会主催の第三学年生徒対象の面接練習会の面接官の協力者数と面接官アンケート結果より	学校関係者評価 (保護者・地域) 設問: PTA、堅川中学校地域支援協力会、青少年育成委員会などの地域活動に関心をもっている。肯定的回答 4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満

※ 表については、必要に応じて2ページ以上にわたるように加工する。